

2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年1月30日

上場会社名 株式会社ナガワ 上場取引所 東  
 コード番号 9663 URL <https://group.nagawa.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 修  
 問合せ先責任者(役職名) 専務取締役管理本部長(氏名) 新村 亮 (TEL) 03-5288-8666  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	22,660	3.8	3,232	△0.3	3,550	2.7	2,431	10.2
2022年3月期第3四半期	21,833	2.8	3,243	0.6	3,458	△0.1	2,206	△4.7

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 2,378百万円( 9.1%) 2022年3月期第3四半期 2,179百万円(△29.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	154.65	—
2022年3月期第3四半期	140.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	56,304	52,374	93.0
2022年3月期	55,902	51,009	91.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 52,374百万円 2022年3月期 51,009百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	65.00	65.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※2022年3月期の期末配当は、1株当たり60円の普通配当に1株当たり5円の記念配当を加えたものとなっております。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,500	3.0	4,650	4.9	4,850	3.4	3,300	9.4	209.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期3Q	16,357,214株	2022年3月期	16,357,214株
2023年3月期3Q	638,707株	2022年3月期	634,588株
2023年3月期3Q	15,720,120株	2022年3月期3Q	15,659,776株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料については、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益 (円、銭)
当連結累計期間	22,660	3,232	3,550	2,431	154.65
前連結累計期間	21,833	3,243	3,458	2,206	140.93
前年同期増減率(%)	3.8	△0.3	2.7	10.2	9.7

当第3四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年12月31日)におけるわが国経済は、供給制約の緩和と経済活動正常化により、内需を中心に持ち直し傾向にあるものの、世界的な金融引き締めや原材料高騰等もたらす物価の上昇などから景気の下振れリスクを内包した不透明な状況となっております。

当社グループを取り巻く環境におきましては、資材価格の高騰による新たな軽量鉄骨構造建築の需要や民間を主にした建設工事の回復基調によるウィズコロナに関する需要がみられました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は226億6千万円(前年同期比3.8%増)、営業利益は32億3千2百万円(前年同期比0.3%減)、経常利益は35億5千万円(前年同期比2.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は24億3千1百万円(前年同期比10.2%増)となりました。

セグメント別の概要は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	連結損益計算書 計上額
	ユニット ハウス事業	モジュール・ システム建築 事業	建設機械 レンタル事業	計		
売上高	19,120	2,738	801	22,660	—	22,660
営業利益	2,950	269	49	3,269	△37	3,232

(ユニットハウス事業)

ユニットハウス事業におきましては、販売は第2四半期に引き続き全国一斉販売キャンペーンを実施し、個人、法人における新たな需要を喚起して販売拡大に努めてまいりました。レンタルは配送体制の強化と効率化により高い稼働率の維持、向上をすることができました。

この結果、当事業のセグメント売上高は191億2千万円(前年同期比4.0%増)となりました。また、セグメント利益は、29億5千万円(前年同期比1.7%増)となり、いずれも堅調に推移しております。

(モジュール・システム建築事業)

モジュール・システム建築事業におきましては、埼玉に開設したモジュール建築展示場を基点として、実際に見て触って感じることで顧客の新たな需要を喚起し、受注拡大に努めてまいりました。

この結果、当事業のセグメント売上高は27億3千8百万円(前年同期比3.8%増)となりました。また、セグメント利益は、2億6千9百万円(前年同期比12.4%減)となり、いずれも第2四半期から改善が見られました。

(建設機械レンタル事業)

建設機械レンタル事業におきましては、営業エリアである北海道南部建設市場で公共、民間のいずれも工事発注金額が減少傾向にある環境下を鑑み、民間企業への営業活動強化に努めてまいりました。

この結果、事業のセグメント売上高は8億1百万円(前年同期比1.8%減)となり、第2四半期から改善が見られました。また、セグメント利益は、4千9百万円(前年同期比24.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ14億4千5百万円減少し、222億7百万円となりました。その主な要因は、原材料及び貯蔵品が7億7千3百万円、契約資産が5億2千万円、商品及び製品が3億1千4百万円それぞれ増加した一方、現金及び預金が29億6千7百万円、売掛金が9億8千9百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ18億4千7百万円増加し、340億9千6百万円となりました。その主な要因は、貸与資産が17億2千7百万円、建物及び構築物が7億2千1百万円それぞれ増加した一方、投資有価証券が4億6千6百万円、建設仮勘定が2億4千7百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ4億2百万円増加し、563億4百万円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ9億6千5百万円減少し、38億4千5百万円となりました。その主な要因は、未払法人税等が5億9千8百万円、買掛金が3億6千8百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ2百万円増加し、8千3百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ9億6千3百万円減少し、39億2千9百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ13億6千5百万円増加し、523億7千4百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金が14億9百万円増加した一方、その他有価証券評価差額金が3千5百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は、93.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年10月24日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はございません。

なお、今後の見通しにつきましては、引き続き検討を行い、連結業績予想に関し修正の必要が生じた場合には、速やかに開示するものであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,794	9,827
受取手形	1,430	1,670
電子記録債権	1,655	1,626
売掛金	4,861	3,872
契約資産	88	609
商品及び製品	2,123	2,438
仕掛品	153	267
原材料及び貯蔵品	328	1,101
その他	217	794
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	23,653	22,207
固定資産		
有形固定資産		
貸与資産（純額）	9,768	11,495
建物及び構築物（純額）	1,448	2,170
土地	7,081	7,155
建設仮勘定	308	61
その他（純額）	181	219
有形固定資産合計	18,788	21,101
無形固定資産	248	261
投資その他の資産		
投資有価証券	11,975	11,508
敷金及び保証金	563	667
退職給付に係る資産	76	102
繰延税金資産	276	179
その他	321	275
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	13,211	12,733
固定資産合計	32,248	34,096
資産合計	55,902	56,304

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,719	2,351
未払法人税等	825	227
賞与引当金	251	154
役員賞与引当金	66	45
関係会社整理損失引当金	1	—
資産除去債務	5	1
その他	941	1,065
流動負債合計	4,811	3,845
固定負債		
長期末払金	26	25
退職給付に係る負債	0	—
資産除去債務	51	55
その他	2	2
固定負債合計	81	83
負債合計	4,893	3,929
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,855	2,855
資本剰余金	8,812	8,823
利益剰余金	40,888	42,297
自己株式	△1,838	△1,839
株主資本合計	50,717	52,136
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	296	260
為替換算調整勘定	△4	△22
その他の包括利益累計額合計	291	238
非支配株主持分	—	—
純資産合計	51,009	52,374
負債純資産合計	55,902	56,304

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	21,833	22,660
売上原価	12,611	13,214
売上総利益	9,222	9,445
販売費及び一般管理費	5,978	6,213
営業利益	3,243	3,232
営業外収益		
受取利息	29	6
受取配当金	203	244
受取賃貸料	18	13
受取補償金	—	43
為替差益	—	22
雑収入	17	18
営業外収益合計	268	348
営業外費用		
支払手数料	4	—
為替差損	5	—
株式報酬費用	24	29
雑損失	19	0
営業外費用合計	53	29
経常利益	3,458	3,550
特別利益		
固定資産売却益	3	3
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	3	4
特別損失		
固定資産処分損	80	29
投資有価証券評価損	44	—
関係会社整理損失引当金繰入額	3	—
子会社整理損	—	10
特別損失合計	127	39
税金等調整前四半期純利益	3,334	3,515
法人税、住民税及び事業税	1,002	971
法人税等調整額	124	112
法人税等合計	1,127	1,084
四半期純利益	2,206	2,431
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,206	2,431

## (四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	2,206	2,431
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△30	△35
為替換算調整勘定	2	△17
その他の包括利益合計	△27	△52
四半期包括利益	2,179	2,378
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,179	2,378
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	ユニット ハウス事業	モジュール・ システム建築 事業	建設機械 レンタル事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	18,378	2,637	816	21,833
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	18,378	2,637	816	21,833
セグメント利益	2,901	308	64	3,274

(参考情報)

所在地別の売上高及び営業利益又は損失は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	日本	タイ	合計
売上高			
外部顧客への売上高	21,759	74	21,833
所在地間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	21,759	74	21,833
営業利益又は損失(△)	3,284	△40	3,243

(注) 全社費用は、日本に含めて表示しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,274
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△31
四半期連結損益計算書の営業利益	3,243

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	ユニット ハウス事業	モジュール・ システム建築 事業	建設機械 レンタル事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	19,120	2,738	801	22,660
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	19,120	2,738	801	22,660
セグメント利益	2,950	269	49	3,269

(参考情報)

所在地別の売上高及び営業利益は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	日本	タイ	合計
売上高			
外部顧客への売上高	22,599	61	22,660
所在地間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	22,599	61	22,660
営業利益又は損失(△)	3,276	△44	3,232

(注) 1. 全社費用は、日本に含めて表示しております。

2. インドネシアは、PT.NAGAWA INDONESIA INTERNATIONALの清算が終了したため、除外しております。

なお、この変更に伴い、前第3四半期連結累計期間の参考情報は、当第3四半期連結累計期間における所在地別の区分により組み替えて表示しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,269
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△37
四半期連結損益計算書の営業利益	3,232

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。